



城南宮で 子どもたちに夏の日の思い出を 「アプリで巡る 源氏物語 花の庭」

「もっと親しんでもらいたい」神社の想いを “おせっかい”な二つの支店がお手伝い

京都市伏見区にある城南宮様は、引越や工事、旅行中の安全を祈願する「方除けの大社」として知られており、車のお祓いには多くの参詣者が来られます。

また、毎年春に曲水の宴が行われる神苑(庭園)は、源氏物語に描かれた花や木々を実際に楽しむことができる「源氏物語花の庭」として親しまれています。

城南宮様には「神事や行事の時に限らず、地域の方々にもっと城南宮に来てもらい、親しんでもらいたい」という想いがありました。しかし、接点を持つにもイベントを行うノウハウがなく、実行に移せずにいました。

そんな悩みを抱えていた城南宮様に寄り添うため、当金庫上鳥羽支店、十条支店が力を合わせ、想いを実現するプロジェクトを組成。城南宮様と当金庫が協働し、地域活性化に取り組んだ事例をご紹介します。



毎年春に神苑で行われる曲水の宴
宮中で行われた歌会を再現した行事

◀女郎花(おみなえし)など、源氏物語ゆかりの植物が楽しめます

「神苑の素晴らしさを伝えましょう！」

上鳥羽支店の真鍋と十条支店の山下は、城南宮様を訪問するたびに、様々なイベント案を持ちかけました。アートを題材にしたイベントやキッチンカーを招くイベントなどを提案しましたが、神社としての制限もあり、なかなか進展しない状況が続いていました。

あるとき、真鍋と山下が城南宮様の神苑を案内していただくと、著名な造園家が手掛けた庭だとうかがいしました。さらに、源氏物語に登場する植物が実に80種あまりも植栽されていると聞き、**ぜひこの素晴らしい神苑を多くの人に知ってもらおうための取組をしたいと考えました。**



神苑を回りながら企画を練る宮司と職員

意外な切り口のマッチング

これを実現するため、両支店の職員がアイデアを出し合ったところ、**「いきもの図鑑アプリ」を使った親子向けイベントを思いつき、城南宮様に提案。**

すると、神苑に元々あるものを再発見するという趣旨や、他業種とのコラボレーションという新たな切り口に好感を示されました。アプリを開発した株式会社バイオーム様は、当金庫が毎年開催している「京信・地域の起業家アワード」にて最優秀賞を受賞した経歴をお持ちです。両社を引き合わせると、すぐに話がまとまり、イベントの開催が決定しました。開催に向けては、**両支店のコミュニティを活用して呼びかけるなど集客面をサポート。**着々と準備を進めていきました。



株式会社バイオーム様も企画に賛同され、興味津々！

2日間で約80名の方にご来場いただきました！
「アプリで巡る 源氏物語花の庭」を開催 2023年 8月20日(日)、21日(月)



大人も子どもも一緒に、神苑の美しい植物に夢中でスマホを向けていました。



ご参加いただいた 香川様ご家族

七五三参りや梅のお花見に城南宮へ来ますが、今日のイベントは普段と違った楽しみ方ができてとても楽しかったです。

次は秋の紅葉の時期にもやってほしいですね！



interview



城南宮 宮司
鳥羽 重宏様

神苑では、「源氏物語植物保存会」として源氏物語の植物を植える取組を長年しており、今回のイベント開催でたくさんの人が植物に対して優しいまなざしを注いでくれ、私たちも庭を維持してきた甲斐がありました。二つの支店が仲良く協力しながらイベントを実現してくれ、地域のために一生懸命に取り組む姿が心強かったです。



京都信用金庫
十条支店
山下明宏

京都信用金庫
上鳥羽支店
真鍋 恵吾

様々な事業者と繋がっている私たちだからこそ地域の役に立てることが多くあると思います。これからもイノベーションを生んでいきたいです。

このイベントを通じて城南宮様や株式会社バイオーム様、そして十条支店、上鳥羽支店の職員が一体となっていくことができ、絆が生まれたと思います。

キャンプギア用品製作企業 × 竹製品製作企業



「株式会社WANT KEY.Lab (ウォンキーラボ)」様は、代表取締役を務める奥さまがご夫婦共通の趣味であるキャンプ用品の企画販売会社を起業された企業。オシャレなアウトドアギアを発信するガレッジブランドWANT KEY CAMPとして海外展開するまで成長されたお取引先様です。

当金庫長岡支店の阪野は、長岡京市内の企業同士が繋がって欲しいとの思いで、自身が担当する同社に商工会主催の“みんながつながる交流会”への登壇を依頼しました。同イベントは大反響でしたが、当の株式会社WANT KEY.Lab様には一つ残念なことが…。以前から気になっていて、つながりたいと思っていた「高野竹工株式会社」様が同イベントの交流会には参加されていなかったのです。

そのことを知った阪野はすぐに同社に電話を入ると、偶然にも長岡支店長の森が同社を訪問中であり、同社取締役西田様に事情を説明し、両社の引合せの話がまとまりました。その間約1時間。電光石火の連携でした！初顔合わせで両社は意気投合され、株式会社WANT KEY.Lab様の商品開発にご協力いただく運びとなりました。

同社のコラボ第一弾は竹製のお箸。用意した200膳は予約販売の時点で完売する人気商品となりました。現在第二弾を検討しており両社のコラボはまだまだ続きます。



株式会社WANT KEY.Lab
興 柁様ご夫妻

京信さんを選んだのは、友人から「京信さんは独自のネットワークで献身的に企業同士を結びつけてくれる」と聞いたからです。
阪野さんに相談したら、ものの1時間で答えが返ってきてどんどん話が進みました。商品化を考えて2ヵ月で販売に漕ぎつけるって中々ないです。高野竹工株式会社様とは今後も竹材を使って面白いことができそうです。
これからもよろしくお願いします！



高野竹工株式会社様

株式会社WANT KEY.Lab様は、まず「酒器」にご興味を持っていただけていました。その後はとんとん拍子に「お箸」の製品化が決まりました。
弊社は自社商品の品質に自信を持っています。
事業所がお近くということで実際に商品を見て、触っていただくことでその良さを分かっていただけというのは大きいですね。



京都信用金庫
阪野 裕司

今回地域の企業同士がお互いに納得のいく製品の商品化に携わることができ、本業支援を通じた企業支援に大変やりがいを感じました。
両社とも日頃から長岡京市のブランド力を高めるために市内から商品を発信したいという強い気持ちですが、今回のスピーディな商品化に繋がりました。今後も事業の更なる発展に向けて、一番の相談相手として伴走していきます。

職員一人ひとりが自分らしく働ける職場づくりに取り組んでいます！

開催

職場の参観日

オープンkyoshin2023

京都信用金庫では、職員の子どもたちが、普段見ることができない働く親の姿や職場に触れることのできる社内イベント「職場の参観日」を開催しています。2019年からスタートしたこの企画は、職員の意見によって実現したもの。子どもたちの親の仕事に対する理解や職業観の醸成、親子間のコミュニケーションの活性化を目的に実施しています。2023年8月、「職場の参観日～オープンkyoshin2023～」を開催しました。



金融機関の仕事を模擬体験

子どもたちは本店ビル館内を見学したあと、金融商品について勉強し、職員役とお客様役に分かれて商品を提案するなど接客体験を行いました。

お金の使い方を学ぶ

一生懸命働いた子どもたちに、当日限定で使える模擬紙幣が給料として手渡され、子どもたちはその模擬紙幣を使って食事をしたり、ゲームで遊んだりと楽しい時間を過ごしました。当金庫について知ってもらうだけではなく、この企画のもうひとつの狙いである、「働いてお金を貰うこと」「モノを買ってお金を循環させること」についても学んでもらいました。



説明するのが難しい...



子ども40名、大人30名が参加し大盛り上がり!



BOC 中澤 美香

イベント後、娘たちが「こんなところで働きたいな」と言ってくれたのが嬉しかったです。職場の皆さんが子どもに沢山声をかけてくれ、職場全体が家族のように見守られていると感じました。

育休パパ万歳!

みんなが主役の育児

2022年10月から「産後パパ育休」(出生時育児休業)が施行され、男女ともに育児休業を取ることが珍しくない時代になりました。当金庫では育児休業・産後パパ育休に関する研修を行ったり、相談窓口を設置しました。その甲斐あって、当金庫でも男性職員が育休を利用するケースが増えており、2022年度の男性の育児休業取得率は90.2%と年々増加傾向にあります。実際に育休を取得した男性職員にインタビューしました。

今回、第一子の誕生に伴って1ヵ月間の育休を取得しました。慣れない子どもへの接し方や沐浴、あやし方などを妻と一緒に学べ、日々成長していく我が子を見守ることができました。おむつ交換に妻と悪戦苦闘したのはいい思い出になりそうです。この経験を生かして、職場でも育休取得を広めていきたいと思いました。

草津西支店
小畑 樹彦



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)